

- 1 財務会計の機能と制度
- 2 財務会計の基礎概念
- 3 「企業会計原則」の一般原則等
- 4 財務諸表の表示
- 5 損益会計
- 6 資産会計総論
- 7 棚卸資産
- 8 固定資産
- 9 リース会計
- 10 繰延資産
- 11 研究開発費等

12 負債会計

本質と分類

引当金総論

引当金各論

偶発損失と偶発債務

- 13 純資産－総論
- 14 純資産－自己株式
- 15 純資産－その他の資本剰余金

引当金の定義(①P122)に含まれる、引当金の3つの特徴			
	未費消・未支出	①P122	「未支出」には、支払義務の確定がないことも含む。
	適切な期間損益計算の見地	①P122	詳細は①P123の説明を参照。
	費用損失に見合い貸方計上	①P122	P/L(費用収益対応の原則)を重視しているイメージ
☆☆☆★★引当金計上の4要件			
	将来の特定の費用又は損失	①P123	会計・監査必須の知識
	当期以前の事象に起因	①P123	会計・監査必須の知識
	発生可能性が高い	①P123	会計・監査必須の知識
	金額を合理的に見積り可	①P123	会計・監査必須の知識

引当金各論 ①P125～の全体像は以下の通りです。
負債性－評価性という分類がまずあって、負債性がさらに債務性－非債務性に分かれるという、
全体的なイメージを確認してください。

分類 ①P125-			項目	繰入額の表示 P/L
会計上の引当金	☆☆☆★★★ 負債性	債務性 ①P125	売上割戻引当金	売上高より控除
			返品調整引当金	売上総利益より控除
			製品保証引当金	販管費OR当期製造費用
			賞与引当金	販管費OR当期製造費用
			工事補償引当金	販管費OR当期製造費用
			退職給付引当金	販管費OR当期製造費用
		非債務性 ①P126	修繕引当金	販管費OR当期製造費用
			特別修繕引当金	販管費OR当期製造費用
	☆☆★評価性 ①P128		債務保証損失引当金	特別損失
			損害補償損失引当金	特別損失
	☆☆★評価性 ①P128		貸倒引当金	販管費OR営業外費用

読み方、理解の仕方のポイント

☆☆★引当金の資金留保効果 ①P124

減価償却費の資金留保効果(①P78)と話の筋は同じです。

☆☆利益留保性の引当金 ①P124

租税法上の準備金や特別法上の準備金は、第一目的は利益留保なのだが、引当金の要件を満たすものと満たさないものがあります。
満たすものと満たさないもので、BS上の表示場所が違いますよ、という話です。

修繕引当金・特別修繕引当金 ①P126

どちらも債務性を持たない：法律上の債務ではなく、J-GAAPとIFRSで会計処理の発想が違います。
J-GAAP：これらを会計上の負債と捉えて、引当金として負債の部に計上する。
IFRS：これらを負債と捉えず、資産の部の本体項目と一体化して計上する。

概念セット数 2

①P129債務保証損失引当金について
債務保証の履行により発生する
求償権(500)の貸倒リスクが高まるにつれて
注記→一部(300)計上→全額(500)計上
と、数字がだんだん出世していく(?)一連の
ストーリーをイメージしてください。

